

ナラの木

ジョニー・ライダー作
高槻成紀 訳

若い頃に親しんだ東北地方が未曾有の震災に遭ったことを知り、何もできないもどかしさに苦しんでいたとき、ふとしたきっかけで「The Oak Tree」という詩に出会い、心を打たれました。訳しながら、「これは東北の心をうたった詩だ」と感じ、この詩を東北のこゝばに訳す活動を始めました。

麻布大学野生動物学研究室 高槻成紀

ナラの木

高槻成紀 訳

たいそう強い風が吹きました
昼となく夜となく
ナラの木すべての葉っぱを
吹き飛ばし
枝をびゅんびゅんと揺らし
木の皮も引きはがすほどでした。
ついにナラの木は丸はだかにな
ってしまいました。
それでも地面にしっかり
立っていました。
ほかの木はみんな倒れて
しまいました。
くたびれてしまった風は
あきらめて言いました。
「ナラの木よ、どうして
まだ立っていられるのだい？」
ナラの木は言いました

「あなたは私の枝を折ることも
すべての葉っぱを吹き飛ばすことも
枝を揺らすことも枝を揺らすことも
私をゆさゆさと揺することも
できます。
でも私には大地に広がる
根っこがあります。
私が生まれたときから
少しずつ強くなりました。
あなたはこの根っこには
決してさわれません。
わかるでしょう
根っこは私のいちばん深い部分なの
です。
実は今日まで
私はよくわかっていませんでした
自分自身がどれだけものごと
に耐えられるかを。
でも、今おかげでわかりました。
自分が知っていたよりも
私はもっと強くなったのです」



ナラの木

盛岡地方版, 岡澤敏男訳

うんと強え風っこ吹いだのす
昼まもよびても
ナラの葉っぱをみんなふっとぼし
枝っこをびゅんびゅんゆさぶり
木の皮っこも むげるくれえで
あんした
おしめえにナラはまるっきり
裸であんしたが
ほんでも地面さ すっかど
立っていたのす
ほかの木はみんなぶったおれ
あんした
こやぐなって風っこは
あきらめで聞いたのす
「ナラっこ、なしてまだ立ってる
のすか」
ナラはしゃべった

「おめえはおらの枝っこ折ることも
ずっぱり葉っぱを吹っ飛ばすことも
枝っこ揺さぶることも
おらをゆさゆさ揺することも
でぎるンべどおらには大地さひろがる
根っこがあるのす
おらが生まれたときから
びゃっこづつ強えぐなったのす
おめえさんは根っこさは なじよしても
触れねえのす
わかるンベ
根っこはおらのいずばん深けえどこさ
あるンだべ
ほんでも、今日まで
おらもよぐわからねがったのす
おらはどれくれえのこと
がまんせるべがと
そだども、ありがていことに
今わかりあんした
おらの知ってたよりも
おらは強えぐなっていたのでがんすよ」



ナラの木

仙台版

佐山暢一訳

社団法人仙台市シルバー人材センター会員一同監修

ずいぶんと強い風が吹いだっちゃ
昼間（しんま）どなく夜中（よなが）どなく
ナラの木（ち）のみんな葉っぱば
ふっと飛ばす
枝（いだ）っこをびゅんびゅんと揺らがすて
木（ち）の皮もひきはがすんでは
ねいがと思った
ついぬナラの木（ち）はすっぱだかに
なつてすまつた
そんでも地面（ずめん）さすっかり
立っていだっちゃ
ほがの木（ち）はぜんぶ倒れてすまつた。

つかれてすまつた風は
あきらめで言つたっちゃ

「ナラの木（ち）よ、どうすてまだ
立ってられんのしゃ？」

ナラの木（ち）は言つたっちゃ

「あんだはおればの枝（いだ）っこを
へしよるごども

ぜんぶの葉っぱばをふっと飛ばすごども

枝（いだ）っこを揺らすごども

おればをゆさゆさと揺するごどもでぎっちゃ

んでも おれぬは土（つづ）さ広がる

根っこがあるす

おらが生まれた時（とじ）から

少すずつ強くなるすた

あんだはこの根っこさ決すて さわれねっちゃ

わがんべ

根っこはおれが一番（いずばん）

深げいどころっしゃ

実（ずづ）は本日（ほんずつ）まで

おれはそんごとがよくわがんねでいだっちゃ

おれ自信（ずすん）がどんだけか

がまんでじるがを

んでも、今すがた おかげでわかりすた

おれが知（す）っていたよりも

おれはずっと強くなったのしゃ」



この詩のこと、東北のこたばへの訳などは以下のブログでござん
になれます。

「がんばれナラの木」 <http://blog.goo.ne.jp/oaktree1949>



THE OAK TREE

Johnny Ray Ryder Jr

A mighty wind
blew night and day
It stole the oak tree's leaves away,
Then snapped its boughs
and pulled its bark
Until the oak was tired and stark.
But still the oak tree held its
ground
While other trees
fell all around.
The weary wind
Gave up and spoke,
"How can you still be standing
Oak?"
The oak tree said,

"I know that you
Can break each branch of mine in
two,
Carry every leaf away,
Shake my limbs, and make me
sway.
But I have roots
stretched in the earth.
Growing stronger since my birth.
"You'll never touch them,
for you see,
They are the deepest part of me.
Until today, I wasn't sure
Of just how much I could endure.
But now I've found,
with thanks to you,
I'm stronger than I ever knew."

Copyright Hallmark Inc.



この詩のこと、東北のこばへの訳などは以下のブログでござん
になれます。
「がんばれナラの木」 <http://blog.goo.ne.jp/oaktree1949>